

# 公益社団法人 日本女子体育連盟 沿革 等

年	沿 革	主な事業、国際交流 等
昭和29(1954) 30(1955) : 32(1957) : 34(1959) : 36(1961) : 37(1962) : 40(1965) :	日本女子体育連盟発会(8/5) 会長・戸倉ハル 就任 : 国際女子体育連盟へ加入 :	ダンス講習会等の開催 : 第1回卒業論文発表会開催(現在に至る) * (第3回国際女子体育会議・ロンドン、5名参加) 『子供と女子の体育』発刊(〜37年4月) : * (第4回国際女子体育会議・ワシントン、15名参加) : 月刊誌『女子体育』発刊(現在に至る) 夏期女子体育研究会開催―後援・文部省(37〜60年) 第1回全国女子体育研究大会開催(現在に至る) : * (第5回国際女子体育会議・ケルン、40名参加)
43(1968) : 44(1969) 45(1970) 46(1971) : 48(1973) : 50(1975) : 52(1977) : 54(1979) 55(1980) : 56(1981) 56(1981) : 58(1983) : 59(1984) 60(1985) : : 63(1988) : 平成元(1989) : : 3(1991) : 5(1993) 6(1994) : 9(1997) : 11(1999) : 13(2001)	<b>(社)日本女子体育連盟設立認可</b> 加盟13県 (11/15) 理事長・松本千代栄 就任 : 加盟38県 : : : : 日本学術会議登録学術研究団体に認可 : 加盟40県 : : : 理事長・川口千代 就任 : : : :	※所管／文部省 : 第6回国際女子体育会議(東京)開催―26ヶ国参加― 第1回指導者養成講座開催(〜60年) 日本女子体育連盟紀要刊行開始(1969―現在に至る) 第1回全日本女子体育実技研究発表会開催(〜63年) * (第7回国際女子体育会議・テヘラン、60名参加) : エリザベス女王来日に際し創作ダンス発表(女王ご観覧) : * (第8回国際女子体育会議・ケープタウン、1名参加) : 本部と加盟団体による共同研究開始(現在に至る) 連盟創立25周年記念研究大会開催 「社会体育」研究部会設置 * (第9回国際女子体育会議・ブエノスアイレス、21名参加) JAPEWムーブメントレッスン<社会体育リーダー養成>開催 (〜60年) 第1回全国社会体育女子指導者実技講習会開催 (サマーセミナーと改称、現在に至る) 連盟創立30周年記念研究大会・アジア女子体育会議開催 第1回学校体育講座開催(61年、サマーセミナーと改称、現在に至る) 第1回舞踊講座開催(〜平成8年) * (第10回国際女子体育会議・ワーウィック、39名参加) 第1回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)開催 (現在に至る) * (第11回国際女子体育会議・パリ、80名参加) IAPESGW Post Congress Seminar JAPAN/連盟創立35周年 記念研究大会開催 第1回幼児教育講座開催(サマーセミナーと改称、現在に至る) : JAPEWムーブメントフェスティバル : * (第12回国際女子体育会議・メルボルン、67名参加) 連盟創立40周年年記念事業開催(6年3月〜7年2月) : 「ダンスムーブメント指導員」資格認定事業開始 * (第13回国際女子体育会議・フィンランド、ダティ、44名参加) * (IAPESGW創立50周年記念会議・アメリカ、ノーザンプトン、15名参加) : ‘02.2 JAPEWフォーラム21/第36回全国女子体育研究大会 開催

平成14(2002)	理事長・片岡康子 就任	第1回ウインターセミナー（学社一体化講座）開催
15(2003)	加盟41県、特別会員全県加入 (財)日本体育協会加入認可 (6/24)	連盟紀要を『学術研究』（レフェリー誌）に改称・刊行 雑誌『女子体育』リニューアル刊行
16(2004)	創立50周年	'05.2 創立50周年記念フォーラム／第38回全国女子体育 研究大会開催 創立50周年記念顕彰事業・JAPEW賞制定
17(2005)	日本学術会議改組により「協力学術団体」 に登録	個人情報保護コンプライアンス制定 第1回ブロックセミナー開催（佐賀）－生涯スポーツ振興 （H24 ダンスムーブメントセミナーと改称し、現在に至る） スペシャル企画／ワークショップ開催（カレングリーホフ女史）
18(2006)		第40回記念全国女子体育研究大会開催 第50回記念「未来世代の研究発表会（卒論・修論・博論）」
19(2007)		全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）第20回記念 大会開催 『女子体育』創刊50年（'08. 1月号、2月号）
20(2008)	理事長・村田芳子 就任	『女子体育』表紙をリニューアル
21(2009)		『女子体育』＝科学技術振興機構・電子アーカイブ化採択
22(2010)		理事長・村田芳子が国際女子体育連盟日本代表を受諾
23(2011)		『女子体育』年6回発行に改正
24(2012)	加盟42団体	公益社団法人移行認定申請 JAPEW功労賞制定
25(2013)	(公社)日本女子体育連盟に認定 (4/1) 会長・高橋和子 就任	※所管／内閣府 新定款・新組織（代表理事・業務執行理事等）・ロゴマーク 設定  第17回国際女子体育会議・ハバナ、48名参加  会長・高橋和子が国際女子体育連盟日本代表を受諾
26(2014)		「JAPEW松本千代栄賞」制定  (公社)日本女子体育連盟創立60周年記念／第48回全国女子 体育研究大会（東京）／SUMMER SEMINAR 2014 *国際女子体育連盟現会長Rosa Lopez D'Amico氏（ベネズ エラ）、前会長Tansin Benn氏（イギリス）招聘
29(2017)		「ダンスムーブメント指導員」資格・S級制定 第18回国際女子体育会議・アメリカ、マイアミ 参加
令和元(2019)	会長・八木ありさ 就任 加盟30団体	国際女子体育会議第4回地域大会・マドリッド参加
3(2021)		『女子体育』刊行方法変更（季刊＋増刊号、B5版）